

平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 23 日（土）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 27 分

場所：筑紫集落センター

参加者：男 15 人、女 4 人 計 19 人

町職員：町長、副町長、建設部長、総務部長、財政課、政策課

○懇談

男性

元気老人サロンで、色々なご要望とかをさせていただきましたが、各地区個別の状況を、例えば筑紫地区は東員町の一番端で戸数も少ないです。色々見ていると、東京から離れているところが置いていかれる状況であるのはわかっています。三重県でも津から離れているところは冷や飯を食っているなというのもわかっていますが、東員町の中でも筑紫は冷や飯を食っているのではないかなという気がしてしまいます。元気老人サロンの事業も筑紫は誇りをもっていたんです。会計も明朗会計でやっていますし、地域の支え合いや、介護予防についても元気老人サロンで引き受けてやっていただいていたんです。これがなくなるとまずいしこの変化には対応しきれないです。筑紫の元気老人サロンは止めになってしまいましたが、もっと地域個別の状態を見ていただきたいなと思います。

もうひとつ、よく町長が農福連携のお話をされます。色々な視察もなされて先進的な取り組みを紹介されますが、私がお伺いしたいのは、この辺の地域は員弁川の氾濫原ですね。かつて氾濫原だったので石ころだらけの痩せた土地なんです。しかもそこが湿潤地帯であったりします。耕作放棄地の有効利用について、丘陵地帯や山間地などのいわゆる過疎地に、大きな機械が入って行って耕しなおして畑にしたりする事例はよく聞きますが、湿潤地帯の有効利用について、もし先進視察などで、土を入れ替えて太陽光発電をやっているところがあるとか、そういう事例がありましたらお聞きしたいです。

町長

元気老人サロンについては、事業そのものを否定しているのではなくて、シニアクラブの中でやっていただけたらと思っています。ただ、出席者にいくらというのがなくなるだけで、事業そのものは地域の支え合い事業の中でも取り組めるのかなと思っています。ただ、そういう事業をやるのに、他の予算を削って持ってくるわけにもいきませんので、その中でシフトしていき、より良いものに変えていくという方向で進めていきたいということで、ご理解をいただけないかと思っています。あと、この辺の湿潤地帯についてお聞きしますが、今は耕作放棄地になっているのか、なりかけているのかどちらなのですか。

城山、ネオポリスの方までいっていたので、中上からイオンモール間をなくして、従来のように、サンシからネオポリスへ走らせます。いわゆる需要に見合った路線にこの10月から改正させていただきます。今はバスを3台使って6,000万円ほど費用がかかっています。この運用の仕方がこれからいいのかも考えるよう町長からも言われておりますので、身近な所へ入っていける方法だとか色んなことを考えますので、もう少し時間をいただきたいと思います。

男性 それは、行政が考えるから走らせねばいけないとなるわけで、例えば、筑紫は健康だからバスはいらないと自治会側から言って、その代わりに元気老人サロンにお金がかかると、どちらかを削るからどちらかへという発想に変えたらどうでしょうか。

町長 10月から実験的に始めることがあります。社会福祉協議会が各自治会に入って地域座談会をやっていて、その中で出てきた発想です。中上なんです、中上に月1回社協の車を貸し出します。その車をボランティアが運転してイオンまで送迎することに取り組めます。そのうち、どこかの医者へ行きたいとかも出てくると思うんです。これから中上で実験的に始まりますが、もし他の地区でそういう活動をやりたいという話が出れば、そこにも貸し出せます。この実験によって、オレンジバスに変わる新しい形態が出てくる可能性があります。この結果をみながら、移動の形をもう一度考えるよう言っています。オレンジバスは主にネオポリスの方が利用しているだけで、在来地区はあまり利用していません。ですから、最小限に残して、あとは新しい移動の手段を考えていったほうが、もっときめ細かな移動手段ができてくると思います。小さい車だと玄関まで行きますからね。これから実験を始めますので、それを見て地域で判断してもらいたいかなと思っています。今おっしゃられたアイデアもあるのかなと検討はさせていただきます。

男性 去年お聞きした、北勢線の70歳以上の料金を割引にするというのはどのようなことでしょうか。

政策課長 三岐鉄道は、北勢線の利用率については、今でも収入が確保できていませんので、現状の利用率を下げるのはまず考えないと思います。

男性 高齢者が今は乗っていないけど、子どもの料金にすることで乗ることになれば収入が増えますよね。

政策課長 70歳以上を子ども料金にすることですね。すみません。私、無料にすると思っていましたもので、もう一度、三岐鉄道に確認します。

男性 それと、医療費を使わなかった人には救急箱をいただくとか、病院にかからない人

にいくらか還元してもらったらどうでしょうか。それと弁天川の底が削れてしまっています。両サイドの基礎の下まで流されています。弁天橋ももう長いことないですよ。桑名から流れてくる排水のせいなのか、底に大きな穴があいて大変です。それと、西弁天橋の交差点、お宝一番館のところは今2車線ですが、3車線になったら車の流れが良くなり事故も少なくなると思います。

建設部長 自治会から要望いただきましたら、建設課が現地を確認しながら、必要であれば、町から県へ要望させていただきます。弁天川については確認させていただきます。

男性 藤川の堤防が何年か前からダンプが通るようになって、舗装がガタガタです。それにとまって全体的に間知も下がっています。見てもらいたいのですが。

建設部長 現場を確認して危ないところについては補修していきたいと思います。間知については二級河川ですので県の管理になりますので、私どもで確認して県に要望をあげます。

男性 先ほどの藤川ですが、川の中に木が生えていたり、葦が生えていたりしますので、どうかしていただきたいと思います。

建設部長 それもご要望いただいている、県には再三要望しているのですが、お金がないとかということで、なかなか対応されないので、また強く要望させていただきます。

男性 藤川から扶桑工機に行くところですが、橋がありますよね。あの橋もダンプがよく通るので、点検していただいた方がいいと思います。

建設部長 橋梁は延命化措置をするための計画を立てるのに点検はしていますので、駄目な橋については段階的に補修されています。いずれにしても確認させていただきます。

男性 水道施設の老朽化ですが、東員町の料金は確かに名古屋市に比べたら破格に安いです。それは認めます。水道料金が上がるのは仕方ないでしょう。ところが、学校の老朽化、これはどうされますか。みんな施設が古くなっているんです。財源は大丈夫でしょうか。

教育長 去年、一昨年と2年間かけて、一般の方や学校の先生や大学の先生も入ってもらって、町内の学校の適正配置適正規模検討委員会を開いて答申いただきました。その中で、今生徒が減ってきていますので、いつごろになったら統廃合をしていかねばならないかという基準を、1年生と2年生を一緒の学級にするといった複式学級の見通しがたったら、統廃合をしてかなければいけないと提言いただきました。二つ目の提言

が一中のことです。できてから 45 年ほど経っています。あと 5 年 10 年で壊れるということはないのですが、この何年かの中に一中を移転するか改修するかを早期に決めなさいとご提言をいただきました。今年一年の間に教育委員会の方針を決めます。3 年以内に結論を出したいと思っております。

総務部長

お金の話をすると非常につらいのですが、28 年度の予算が 78 億 9,200 万円です。そのうち約半分の 35 億から 38 億ぐらいが町税です。一番心配するのが町税のうち町民税が 1 年に 1%ずつ毎年減ってきている傾向があります。それ以外の税収も少しずつ減っています。その中で財源をという、これから削るものを削った上で少しでも積み立ててやるということと、要らない出費や人員削減もいずれはでてくると思いますが、そういったことの工夫が財政にも求められてきています。特に 28 年度以降はそんな覚悟をしています。建てられるお金を出せるかという、すぐには出せない状況にあります。

男性

神田小学校は急激に児童が増えています。プレハブで対応していますが、その辺のところはどう考えていますか。

教育長

神田小学校は 3 教室分プレハブを建てています。建てて 3 年目です。3 歳児、4 歳児、5 歳児を見ていると、これはもう少し伸ばさねばいけないという予測を立てています。建て増しをするかという、今、生まれた子の予測を立てていますと、そこまでは今のところ増えないのではないかなという予測で、今のプレハブの状況をあと何年かは続ける、そして残念ながら児童も減ってくるであろうということで、プレハブで対応したいと思っています。私が神田小学校にいたときは 395 人でしたので、70 人くらいは 10 年くらいで増えています。今、鳥取や山田などの小規模の宅地開発がされていますので、これからまだちょっと増えるのではないかなと思っています。ただ、さらに 4 教室分、5 教室分も増やす必要はない増え方をしています。今のプレハブ 3 教室分の現状維持を考えています。

男性

不登校生徒があちこちにいるという話ですが、心配な事案ですがどういう対応を考えているでしょうか。

教育長

東員町の最大の課題だと思って、今色々な取り組みを模索させていただいています。最大時で、中学校に入ってから不登校が一中二中合わせて 20 数名いました。その子たちをどう育てていくかが課題で、それがきっかけで 16 年一貫教育プランを作りました。中学校になって不登校になって、その時に対応しては難しいです。我々の不登校の子を研究のなかで共通点がありました。ひとつは、家事労働、手伝いや遊びが生活の中で抜けていました。全員ではないですけどね。遊びも一人遊びとかで、友達との多くの関わりや遊びが抜けていました。研究したところ、もっと遡り 0 歳か

ら3歳の間で人を信じる力、基本的信頼感ができない子どもたちが多くなってきたんです。そこでこのプランを作り、幼稚園保育園からの具体的な実践を今進めております。この成果がでるのは、私たちは10年後だと思っています。もちろん、すぐに対応するスクールカウンセラーの配置を町単独で増やしたり、きめ細やかな教育として学習支援員を町単独で、小学校で27人、保育園幼稚園で80人くらい別に雇ったりしています。4歳児が大切だと分かってきましたので、4歳児に多く保育支援を入れてその子どもたちが健全に育つようにしています。非常に難しく特効薬はありませんが、こういう傾向にあるということで、遊びやお手伝い、人との関わりをいっぱい増やす、そのための調査や訓練などを小学校1年生からずっとやっています。一番の課題だと思っていますので、そのために税金を使わせていただいております。

男性

農業関係でブドウとかブルーベリーを作っていると言っていました、その隣にイノブタを飼って肥料にしたらいいと思います。東員町イノブタといって有名になったら、黒字になるんじゃないかな。イノシシとブタをかけてイノブタですが、すごく美味しいそうです。その排泄物を農産物に使うというのもいいかもしれないと思うのですが。

町長

一回検討させていただきたいと思います。